



2022/10/23 SUN - 12/25 SUN

『帰還不能点』&『歌わせたい男たち』関連企画

プラット演劇研究 & 劇評講座

「演劇を観る、語る —— 作品にもう一步近づくレッスン」



『帰還不能点』舞台写真

穂の国とよはし芸術劇場PLATでは、11月に劇団チョコレートケーキ『帰還不能点』、12月に二兎社『歌わせたい男たち』を主ホールにて上演します。関連企画として、本作品の観劇に向けた演劇研究と劇評の講座を実施します。「観る」ことをもう少し深めて、演劇を味わってみませんか？



『歌わせたい男たち』(キムラ緑子、相島一之、山中崇)

- ①2022年10月23日〔日〕「演劇を観るこつ、〈言葉〉にするこつ」
- ②2022年10月30日〔日〕「作家と作品」
- ③2022年12月4日〔日〕「観劇体験を言葉にし、共有する」『帰還不能点』
- ④2022年12月25日〔日〕「観劇体験を言葉にし、共有する」『歌わせたい男たち』

全4回 各回とも13:00~16:00

講師=山口宏子(朝日新聞記者) 会場=穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 研修室(小)

おもしろかった、感動した、笑った、考えさせられた……演劇を観てわき上がる様々な心の動きを「言葉」にして、自分自身の考えを深めよう。それを、他の人たちと共有しよう。この二つが講座の目標です。誰かに伝えようと思って観ると、舞台との向き合い方がより注意深くなります。他の人の言葉に触発されて、考えが広がることもあるはず。 「言葉」を使うことで、鑑賞をもっと豊かに。『帰還不能点』と『歌わせたい男たち』を題材に、そんな体験をしてみませんか。 山口宏子

応募条件

- 対象=上記日程に参加できる高校生以上の方で、『帰還不能点』と『歌わせたい男たち』の両方、もしくはどちらかを観劇予定の方。
- 受講料(全4回分)=一般1,000円、25歳以下500円

応募方法

- 募集: 15名(先着順)
- 申込: オンライン: 劇場ホームページ <http://toyohashi-at.jp> より



↑講座情報

窓口・FAX: 参加申込書に、必要事項を記入の上、プラット一階窓口
または Fax(0532-55-8192)

電話: プラットチケットセンター 0532-39-3090 (10:00~19:00休館日除く)

お問合せ: プラットチケットセンター
TEL 0532-39-3090 (10:00~19:00休館日除く)

- 主催: 豊橋市、公益財団法人豊橋文化振興財団
- 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業



劇団チョコレートケーキ『帰還不能点』

11/19(土)・20(日) 両日13時

チケット発売=会員:9/10 一般:9/17

二兎社『歌わせたい男たち』

12/14(水)19時 15(木)13時

チケット発売=会員:10/1 一般:10/15



山口宏子 [やまぐち・ひろこ]

1983年朝日新聞社入社。演劇担当の編集委員、文化・メディア社説を担当する論説委員を務め、現在はオビニオン編集部「論座」に所属。2003~04年、早稲田大学演劇博物館客員研究員。2009~10年、NHK-BS「ミッドナイトステージ館 演劇はいま」の司会。2015~19年仙台文学館「井上ひさし作品を読む」講師。武蔵野美術大学、日本大学非常勤講師、東京都立総合芸術高校の特別専門講師も務めている。共著に『蜷川幸雄の仕事』(新潮社)。

申込書

プラット演劇研究 & 劇評講座
「演劇を観る、語る
—— 作品にもう一步近づくレッスン」 2022

ふりがな

年齢・年代

名前

職業 / 学校名・学年

電話番号

MAIL

(自宅)

(PC)

(携帯)

(携帯)

「帰還不能点」の観劇予定

観劇する・観劇しない・検討中

「歌わせたい男たち」の観劇予定

観劇する・観劇しない・検討中

応募動機

その他連絡事項

FAX 0532-55-8192

穂の国とよはし芸術劇場